

SOLAN HARMONY

いよいよクライマックス! 「SOLAN生徒会」プロジェクト

第4Qからスタートした「SOLAN生徒会を立ち上げようプロジェクト」が、いよいよ最終局面を迎えます。

「6年生最後に、25人全員で何かを成し遂げたい！」

「1期生だからこそ、自分たちの手で、より良い学校を創りたい！」

そんな子どもたちの熱い想いが、このプロジェクトの原動力でした。

どんな学校にしたいのか、そのためにはどのような組織が必要なのか、予算はどれくらいか——

子どもたちは徹底的に考え、調べ、議論を重ねてきました。

そして来週、立候補によって選ばれた3人のリーダーを中心に、管理職の先生方へのプレゼンテーションを行います。

このプロジェクトを通じて、私は「学校をもっと良くしたい」という子どもたちの情熱と、それを形にしていく驚くべき力を目の当たりにしました。主体的に考え、行動し、仲間と協力して目標に向かう姿は、まさにSOLANが目指す教育そのものです。

この経験が、彼らの未来を切り拓く力となることを信じています。

そして、6年生全員で挑む、この最後のプロジェクトが、子どもたちにとって「かけがえのない宝物」となることを心から願っています。



今年度、私が担当する最後の学年通信となります。この場をお借りして、一言ご挨拶させていただきます。

「6年生の子どもたちに出会えて本当によかった。」この一言に尽きる一年でした。

5年ぶりの学校現場、そして年度途中からの着任。最初は少し緊張していましたが、個性豊かで明るい子どもたちの元気な笑顔に囲まれ、すぐに安心することができました。

日々の算数の授業はもちろん、修学旅行、スポーツフェスティバル、スキー合宿など、さまざまな行事を通して、子どもたちの成長を間近で感じられた毎日は、私にとってかけがえのない宝物です。

残り一週間となりましたが、子どもたちとの大切な時間を、一瞬一瞬しっかりと味わいながら過ごしたいと思います。

至らない点多々あったかと思いますが、保護者の皆様の温かいご支援のおかげで、充実した一年を過ごすことができました。

本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

加藤 弘靖



“Embracing Diversity, Creating Harmony:
Students Unite for Success”

